

平成 25 年度 第 2 回武蔵野市自転車等駐車対策協議会 議事要旨

1. 開催日時 平成 26 年 2 月 20 日（木）午前 10 時から 12 時まで
2. 開催場所 武蔵野市役所西棟 4 階 412 会議室
3. 出席委員 10 名 欠席委員 5 名
4. 内 容
 - 開 会
 - 報告事項
 - ・石井委員の逝去について
 - ・市報 1 月 15 日号「市政アンケート」
市報 2 月 1 日号「交通ルールを守って自転車事故を減らしましょう」
 - ・田村会長の都知事感謝状授与について
 - 審議事項
5. 審議事項
 - (1) 停留調査結果報告について 資料－ 1
 - (2) 武蔵境駅周辺における駐輪場の整備予定について
 - ・事業計画（案）について 資料－ 2
 - ・利用料金（案）について 資料－ 3
 - (3) その他

<質疑応答事項>

委 員：資料 1 の停留台数調査をみると、平成 22 年度までは午後 3 時の停留台数が収容可能台数を上回っていたが、平成 23 年度以降は収容可能台数が停留台数を上回ったことから、駐輪場整備の充実がわかる。それと共に放置防止指導業務を一元化したため放置台数が数字でも実際の街の様子を目で見てもわかる減少結果となった。削減の幅が今後は少なくなってくるが、この状態を維持していくためにも、決して緩めることなくやっていきたい。

委 員：10 年前から比べると見た目にも放置台数の減少傾向が明らかである。
非常に嬉しいことであるが、こういう話の中からまた新しい問題が出てくるかもしれない。

委員：吉祥寺南口地区の商店会長から話が来た。今後京王等の開発で大規模需要が発生する。自転車が增多ることによる交通安全を心配しているので相談に乗ってほしい。それによって起こる事故等を想定して対応策を考えていきたい。

委員：吉祥寺大通り東駐輪場の裏側に暫定のような駐輪場が多くできているが、市で貸しているものなのか。

事務局：吉祥寺駅南口の再開発などまちづくり種地として取得した市有地である。吉祥寺駅の東部地区では、市有地と民有地の土地交換を行い、まちづくりを進めている土地もある。まちづくりを進めていくまでの間、駐輪場として使用している。敷地が狭いので平置きであるが、駅に近い場所なので人気があり利用台数は多く、満車になっている。

委員：境や東小金井にレンタサイクルができた。これは駐輪台数を減らす目的等で市が話をしたのか、それとも単なる商業目的でやっているのか、どちらなのか。

委員：武蔵境高架下西側レンタサイクルはJR東日本関連会社が展開している。市としてのタイアップはない。JR関連会社が自転車の有効活用を考え、学生などの利用が想定されるところに展開したようだ。当初はポートを小金井公園や大学の中に置いて展開する予定だったが、現状ではポートの確保が難しいようだ。

委員：武蔵野市でやるならパリのようにステーションを多くつくる必要があるが、吉祥寺では敷地もなく難しいだろう。一つのステーションに20～30台あればよいが、2～3台でもあるとよい。空きがない場合はパリ等ではバス停のそばにあるし、データを活用して空き状況がわかるようになっている。

委員：都知事も代わり、オリンピックを見据えて自転車道の整備を今後促進していくと見込まれる。全自連だけでなく東京都への働きかけをして市町村が広域連携していく必要があるのではないか。

事務局：東京都は、平成25年7月より東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例が制定されるなどの動きを見せている。これまでも、市から都に対して、自転車環境の整備を推進するよう働きかけをしてきている。また、機会を見つけて働きかけをしていきたい。

委員：都に働きかけをしていくにはデータに裏付けられた説明ができるか否かだと思う。
駐輪場の機械化が進んだため、駐輪場の利用状況などデータをもっと活用していけば駐輪場の有効活用につながるのではないか。

事務局：駐輪場の詳細な利用データは、蓄積されているわけではない。

委員：消費税率が変更することにより、駐輪場の利用料金は変更するのか。

事務局：現時点では、利用料金を変更する予定はない。
ただ、今後消費税率が 10%に変更される動きもあることから、関係機関と協議を行うなど考えていく必要がある。

委員：武蔵境駅周辺は一時利用 2 時間無料制度の駐輪場ができてから放置自転車がかなり減ってだいぶ状況が良くなり、比較的落ち着いた状況にある。
引き続きこの状況を維持向上していきたい。

委員：一時利用を拡充するという計画だが、実際どうなのか。

事務局：武蔵境駅周辺に自転車で乗り入れる方は、市外の方が大変多い。
平日と休日では駐輪場利用者が異なることから、定期利用のように特定の方が使うより、一時利用で多くの利用者を受け入れる運営方法の方が望ましいと判断した。

委員：武蔵境駅周辺の利用料金についてはいかがか。

委員：価格の問題ではなくワンコインワンタッチ、交通 IC カードの充実が必要ではないか。交通 IC カードで駐輪場を使えるようにはできないのか。

事務局：交通 IC カードの利用は、あくまで一時利用の料金精算時のみである。駐輪場の定期利用も交通 IC カードにすることになれば、公益財団法人自転車駐車場整備センターの負担が大きくなると考えられる。

委員：自転車の安全利用に関して、小学生などへの教育はどうなっているのか。
自動車は免許制であるが自転車には無く、親にも交通ルールの知識がないことが多い。交通ルールの啓発が必要である。免許制などの議論もあったが、自転

車の安全利用を学べる環境作りが進んでいないように感じるが。

委員：市の協力も頂いて、小学校にて自転車教室を開催している。

委員：最近では、小学校 1、2 年生は道路で乗るにはまだ小さくて危険、5、6 年生は塾等で忙しい。そのため 3、4 年生しか参加してもらえない状況にある。

委員：交通事故で自転車関与の割合は高い。ガードレールなどに横断幕を設置するなど、街中に看板等だしているが、駐輪場でも情報発信していくべきだと思う。街中に啓発看板を出すより自転車を使う人にダイレクトに訴えていければ効果が高まるのではないか。

委員：道路上の放置自転車は少なく、緊急活動には支障をきたしていない。自転車に関する情報を周知させることが必要だが、市報等は読まない方は読まない。目に入りやすいよう直接訴えていくものがよい。

委員：人は自分だけは大丈夫、事故に合わないという根拠のない自信、考えをもっている。これまでとは別のアプローチで自分にも起こりうることを自覚させなければならない。
一方、市外からの自転車による来街者が多いが、商業振興的視点も大切だ。自転車の来街を費用対効果で分析してみたらどうか。

委員：こういう乗り方をするとあなたは事故に遭いますという啓発物をどこかでみかけ、思わず読み込んでしまった。自分は事故に関係ないと思ってしまうものなので、興味をひかせる、思わずみたくなるポスターや案内が必要だろう。
また、自転車に GPS をつけて自転車の速度などを調査したことがあるが、高齢者の方などは下りの坂道で速度を下げない傾向があった。
脇から車などが飛び出してきたときに、対応しきれずに事故になるケースも多い。自転車の利用に関する情報は、利用者の目を引き付けるようなキーワードと鮮度が大切ではないか。

委員：家が駐輪場まで 500 メートル制限で使用できないこともあり、最近吉祥寺に歩いていくようにしている。また知人がうちに自転車を停めにきている。
情報発信するのは市、警察だけでなく我々も発信していくべき。口コミの力が一番である。先日は三鷹駅周辺の総合満空表示盤の取材をさせてもらったが、全国でも例のない試みを武蔵野市では進められているので、引き続き取り組ん

でほしい。

委員：放置防止指導業務は一元化されているのか。

事務局：放置防止指導、撤去、保管などの業務はすでに一元化されている。

委員：自転車誘導レーンが大野田小学校の前にも整備されたが、ぜひ自転車のマークだけでなく矢印も表示してもらいたい。

4. 閉会